

「電磁波対策の家」 = esmogclearhome で、健康で安全な住まいの実現

施工事例 紹介

オールハウス株式会社



オールハウスは「電磁波対策の家」を推進する NPO 法人住環境測定協会の会員です。

施工対象: 広島安佐南区 ころろ住宅展示場内 モデルハウス 2 階主寝室(17 m²) 2 階子供部屋(20 m²)

施工内容: 低周波電界シールド施工 高周波電磁波シールド施工

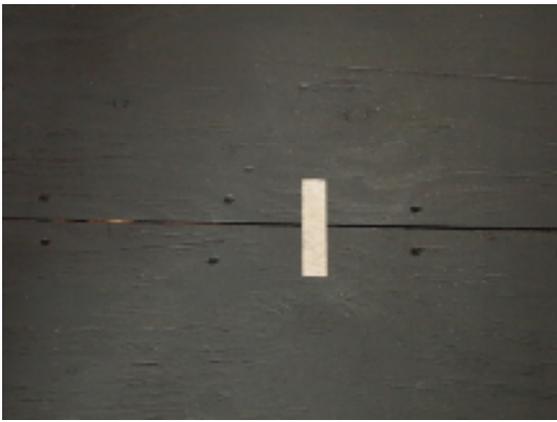
施工材料: 低周波電界シールドペンキ NSF34 高周波電磁波シールドクロス HNV80

材料使用量: 低周波電界シールドペンキ NSF34 1層塗り 約 4L
高周波電磁波シールドクロス HNV80 幅1m×70m

住環境測定協会の会員であり、「電磁波対策の家」推進企業であるオールハウス株式会社 が、2011 年 4 月にオープンする地元広島のモデルハウスに施工した電磁波対策を事例として紹介します。

施工内容について

主な施工内容としては、主寝室と子供部屋の床に低周波電磁波シールドペンキを塗ることで、1 階天井裏に張り巡らされた室内配線からの低周波電磁波をシールドしています。このペンキをフローリング下の床材にムラなく隙間なく塗ることで、ペンキで塗られた床が室内配線からの電磁波をキャッチする一面となり、それをアースによってまとめて大地に流してしまうことで電磁波を取り除く、という方式です。ペンキを塗り終えて一日乾燥させた後には、アーステープを床のボードの継ぎ目に貼り、ペンキによる電界面に裂け目がないようにします。



また同じく主寝室と子供部屋の壁面には、高周波電磁波シールドクロス(下地壁紙)を張り、クロスによって形成された一面によって外部からの高周波電磁波をカットしています。このクロスは低周波電磁波に対するシールド機能も兼ね備えていますので、キャッチした低周波電界を同様にアースによって大地に流して処理しています。クロスは継ぎ目での隣り合うクロスに 10 cm程度重ねて貼り、その各継ぎ目にはアーステープを数カ所にわたって貼りクロスによる電界面に裂け目がないように注意します。



シールドペンキおよびシールドクロスの施工の後には、塗られたペンキ面に裂け目がないか、貼られたクロスに穴や切れ目がないか、つまり一枚の連続する電界になっているかをチェックします。

この電界面はもちろん導電性ですので、写真のようなテスターを用いて人体から発生する電気を導電するかどうかを数カ所でチェックすることで、確実に施工されたかを確認することができます。電磁波対策を施した部屋で、完成後に電磁波測定器を用いて電磁波強度を測定することも重要です。また寝室、子供部屋以外の施工していない部屋との電磁波強度の比較も行います。また切り替え式のアースを取り付けることで、シールドの入切を見せることができるようにしています。



なぜ寝室や子供部屋なのかと言いますと、人間にとって睡眠とは心身の疲れを癒すための大切な時間であるばかりでなく、新陳代謝がもっとも活性化される人体の発育にとっても欠かすことの出来ない重要な時間であるからです。屋外での不特定の電磁波から常に身を守ることは難しいことですが、せめて睡眠中の電磁波の影響から身を守ることができればと思い、寝室に電磁波対策を施すことにしました。また小さなお子さんの脳は小さく頭蓋骨も薄いので、電磁波の影響をもっとも受けやすいと言われています。そのため子供部屋へも同様の電磁波シールドを施して、より健康で安全な空間をお届けしたいと考えています。

以上 オールハウス株式会社 による電磁波対策の施工事例でした。